

《留学生向け特別授業（2単位）》

学 部：日本法入門

大学院：法政理論特殊講義（修士課程）

法政理論特別研究（博士後期課程）

このことについて、下記のとおり開講しますので、履修希望者は担当係（学部生：教務担当、研究生・大学院生：学事担当）で履修登録期間に登録してください。

記

【授業内容】

学部生、研究生、大学院生として来日したばかりの留学生を対象に、日本の法学・政治学の基礎的理解を得ることを目的とする授業（詳細については、別紙参照）

【担当教員】

牧佐智代、佐藤修二、小名木明宏、会沢恒、辻康夫

【授業日程】（予定）

10月 5日（月）	1 講目	（担当：牧佐智代）
10月15日（木）	1 講目	
10月19日（月）	1 講目	
10月26日（月）	1 講目	（担当：佐藤修二）
11月 2日（月）	1 講目	
11月 9日（月）	1 講目	
11月16日（月）	1 講目	（担当：小名木明宏）
11月30日（月）	1 講目	
12月 7日（月）	1 講目	
12月14日（月）	1 講目	（担当：会沢恒）
12月21日（月）	1 講目	
1月 4日（月）	1 講目	
1月13日（水）	1 講目	（担当：辻康夫）
1月18日（月）	1 講目	
1月28日（木）	1 講目	

全15回

【実施方法】

対面授業

【評価方法】

授業参加態度及び各担当教員のレポートによる。

令和8年9月16日 教務担当・学事担当

○担当：牧 佐智代（3回）

日本の民事法に関する基礎的知識の習得を目的とする。

各回の講義は次の内容を予定している。

- ①日本民法の構造と民事裁判の概要
- ②契約法
- ③不法行為法

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

○担当：佐藤 修二（3回）

租税法を素材に、日本の裁判実務における法の解釈・適用の実際について講義を行う。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①租税における法の重要性
- ②法的三段論法その 1：租税法の解釈
- ③法的三段論法その 2：租税法における事実認定

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

○担当：小名木 明宏（3回）

本講義では、刑事法に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①刑法総論の諸問題。
- ②刑法各論の諸問題。
- ③刑事法のその他の諸問題。

受講者には、それぞれの国の制度について説明を求めるので、各自自国の六法を持参するように。

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

○担当：会沢 恒（3回）

日本の近代法は 19 世紀後半に西洋諸国からの法を継受する形で整備された。会沢担当会ではその経緯を辿るとともに、そのことに由来する日本法の比較法的特徴について議論する。

成績評価は 1000 字程度の小レポートにより行う。

○担当：辻 康夫（3回）

本講義では、日本の政治に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①日本の政治システム
- ②日本のマイノリティ問題
- ③日本政治の課題

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。